

原発事故が起きた福島 核燃料サイクル事業が進む六ヶ所村 あなたはいのちのバトンをわたせますか

監督 島田 恵 (しまだけい)

1959年東京生まれ。写真雑誌社、スタジオ写真などを経てフリーの写真家に。1986年のチェルノブイリ原発事故後初めて六ヶ所村を訪れ、核燃問題で揺れる村に衝撃を受け取材を始める。1990年から2002年までは六ヶ所村に在住。あらたに映像分野で核燃問題を伝えようと、2011年から映画制作に乗り出す。第7回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞。

あらすじ

福島第1原発から5キロに住んでいた大熊町の田辺さん一家は、避難先の東京で第2子を出産。ふるさとに願いを込め「福ちゃん」と名づけた。郡山市で14代続く有機農業者の中村さん一家は、放射能による影響に苦しみながら、田植えをし稲を刈る。東京に住む河原愛美さんは、子供の食べ物に気を使いながら、核燃施設のある故郷の青森県六ヶ所村を憂う。六ヶ所村泊で漁業を営む滝口さん一家は、青森県太平洋沖のマダラから基準値以上のセシウムが検出されたために獲った魚を海に捨てる。福島と六ヶ所村をつなぐもの。原子力施設を抱える地域で暮らす人々の生活と苦悩を通し、放射能という「負の遺産」をこれ以上増やし続けることの責任を問う。

鎌田 慧 (ルポライター)

島田さんは、六ヶ所村でもっとも長く生活した取材者である。その粘り強さと優しさが、六ヶ所村の姿をよく伝えてきた。こんどは映画に挑戦するという。これ以上の期待はない。

菊川 慶子 (六ヶ所村「花とハーブの里」)

今はネット社会。抗議の場からリアルな映像が伝わってきます。私たち一人ひとりの力で社会も変わっていくのだと実感しています。できるときに、できる人が、できるところで、諦めないで動き続けましょう。

加藤 登紀子 (歌手)

これは21世紀人類が直面している最重要課題であることを、思い知らされた今、核のゴミを無限に作り出す原発に終止符を打たせるために、行動を開始しよう。

広瀬 隆 (作家)

島田恵さんは、12年間も六ヶ所村に住んで、地元の人たちと生活してきた本物の写真家です。彼女が六ヶ所の映画制作に乗り出したと聞いて本当に力強く思います。



上映会を開催してみませんか 自主上映団体募集！

上映会を希望される方は下記事務局、もしくは公式HP お問い合わせまでご連絡ください
六ヶ所みらい映画プロジェクト事務局 **042-727-8559 070-6523-8559**

映画制作協力金募集中！

振込口座 **00170-3-457128**
口座名 六ヶ所みらい映画プロジェクト

監督：島田 恵 撮影：島田 恵・猪本 雅三・猪本 太久磨・梅沢 圭・澤口 佳代 編集：野田 亮介・島田 恵 音楽：加藤 登紀子「今どこにいますか」「命結」
チラシデザイン：はらだゆうこ 制作・配給：六ヶ所みらい映画プロジェクト 助成：高木基金 2013年/日本/カラー・白黒/HD/105分